

次期 ICT プラン策定経過とスケジュール

次期 ICT プラン策定作業	
10月	10月23日 中間とりまとめ公表 10月23日～11月22日 パブリック・コメント 10月26日～11月10日 各界関係者・市町村との意見交換 10月30日 第1回愛知県DX推進本部
11月	11月5日 第1回愛知県DX推進プロジェクトチーム 11月24日 第3回有識者会議 素案について意見交換
12月	第2回愛知県DX推進本部 次期 ICT プランを決定

パブリック・コメント

<期間>2020年10月23日（金）から11月22日（日）まで

<意見件数>9件（5人）

<主な内容>

- ・ セキュリティ教育を高等学校において実施し、個人のサイバーリテラシーを向上することで、デジタル社会の基本的水準を上げていくことが必要である。
- ・ 将来の優秀な ICT 人材育成のため、キャンパスの名古屋都心移転や定員増加等により、愛知県立大学情報科学部の強化を図ってはどうか。
- ・ 本プランの推進体制について、各部署から代表者を募り、ICT に比較的対応できる若手職員を登用してはどうか。

各界関係者との意見交換

<意見者>愛知県行政書士会、地域問題研究所、日本労働組合総連合会愛知県連合会、名古屋商工会議所

<主な意見>

- ・ 国はスピード感を持ってやっている。国の計画との連携が大事であるので、遅れないようにスピード感を持つことが大事である。
- ・ 行政手続のオンライン化は必然の流れであり、民間もそれに対応できるようデジタル人材の育成をしていく必要がある。
- ・ デジタル化は企業では ICT 投資という位置付けとなるため、付加価値を生み出すほか、人員削減等の目に見える効果も必要である。ただ単に職員を減らすのではなく、視点を変えて、他の重要課題に取り組みせるといった積極的な人材活用に繋げることも必要である。
- ・ 事務の効率化は、県民の利便性向上にも繋がるものであるという視点が重要である。

市町村意見

<意見者>豊橋市、岡崎市

<主な意見>

- ・ 県が行政のデジタル化で行おうとしていることは、市町村にとっても共通の課題であるため、市町村においてもデジタル化が実現できるように支援、情報共有等を行っていただきたい。
- ・ 職員の育成について、市町村では外部から人材を入れるのは困難であるので、県と市町村で連携した人材育成ができるとありがたい。